



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和5年9月13日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
県産品流通支援課	課長	浦崎宏幸	直通 058-272-8090
	海外展開係長	矢崎 芳	内線 3816

英国国立博物館における美濃和紙を用いた花みこしの展示について

県では、伝統工芸品等の県産品の海外展開を支援するため、岐阜ブランドの魅力を世界へ発信し、認知度拡大を目的としたプロモーション活動を展開しています。

このたび、英国ロンドンで開催されるロンドン・デザイン・フェスティバル^{*1}において、主要拠点となる国立ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館^{*2}と連携し、下記日程で美濃和紙を用いた花みこしの展示を実施することになりましたのでお知らせします。

記

- 1 展示会場** ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
サウス・ケンジントン デイリット・ギャラリー
(所在地：ロンドン・ケンジントン・クロムウェル・ロード)
- 2 展示期間** 令和5年9月16日(土)～10月15日(日) (1か月間)
※ロンドン・デザイン・フェスティバル(9/16～24)に合わせて展示

3 展示作品

美濃市の美濃まつりで使われる「花みこし^{*3}」をロンドンで活躍する日本人建築家の早津 毅(はやつ たけし)氏がアレンジし、花見をイメージして仕上げた作品

タイトル：Hana Mikoshi (花みこし)

デザイン：Hayatsu Architects

(早津建築事務所 代表：早津 毅)

仕様：幅5m×奥行き4.6m×高さ4.5m

素材：花みこしの花：美濃まつりで花みこしに使用する和紙花(10万枚)

枝部：竹(現地にて調達)

台座(花見に使う大きなカーペットをイメージしたもの)

：前展示の什器からリサイクルしたMDF材に美濃和紙を貼付



作品イメージデザイン
Image credit: Hayatsu Architects

※和紙花の枝部への取り付けは、同博物館のワークショップ企画として8月中の9日間に訪問者約1,500名により制作(約200本)



ワークショップの様子

4 関連イベント

(1) 美濃和紙ワークショップ

日 時：9月21日（木）～22日（金）

各日14時～15時30分（現地時間）

会 場：クリエイティブ・スタジオ（上記館内）

内 容：本美濃紙を使用した紙布（しふ）制作体験

講 師：中谷さとみ氏 紙布空桜（そらざくら）主宰（美濃市）



制作作品イメージ

(2) 日本酒試飲会及び県産品展示紹介

日 時：9月22日（金）18時30分～22時

（時間中に試飲会は4回開催予定）

会 場：デイリット・ギャラリー（作品展示会場）

内 容：県産日本酒のほか美濃和紙製品等の伝統工芸品を展示

<参考>

※1 ロンドン・デザイン・フェスティバル

ロンドン各地で400以上のセミナー、展示会などが一斉に開催される都市全体のデザインイベント。2003年以来開催され続けており、今年は9/16～24にかけて開催。

※2 ヴィクトリア&アルバート博物館

芸術とデザインの博物館としては世界をリードする存在。5000年以上にわたる人類の創造性を示す280万点を超える作品、文献、関連資料が収蔵されている。1851年にロンドンで開催された世界初の万博の成果を生かすため、ヴィクトリア女王と夫アルバート公が基礎を築き、1852年に開設、1857年に現在の場所に建設された。来館者数は年間約400万人（2019年度）。



博物館外観

※3 花みこし

美濃市で毎年4月第2土曜日と翌日曜日に開催される八幡神社の祭り「美濃まつり」で奉納される。桜色に染めた美濃和紙を取り付けた約300本の竹（しない）で神輿を飾る。うだつの上がる町並みを約30基の花みこしが練り歩く。



美濃まつりでの花みこしの様子